

活動内容

〈題〉「家庭・地域社会・学校が一体となって地域の宝を育てよう」

学級名 盛岡市立渋民小学校

学級担当者 正木 啓一

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・ 構成員 渋民小学校 PTA 会員、地域住民、渋民小学校児童
- ・ 学級の運営組織 渋民小学校区教育振興協議会
- ・ 学習のねらい、重点 家庭・地域社会・学校がそれぞれの役割を担いながら、地域の宝である児童の健やかな成長を一丸となって支えていく。

2 学習計画と活動の状況

回	日 時	講 話 題	講 師 (職・氏名)	参加人数
1	12月6日	「石川啄木について学ぶ」	石川啄木記念館 館長 藤原 安生 氏	(交流会参加合計人数) 41人
		内 容	感 想 等	
		・ 石川啄木記念館藤原館長による講話と石川啄木記念館・民俗資料館の見学 ・ 道の駅「たみっと」の見学	第Ⅶブロック研修交流会を「学びのつどい」とし、職員並びに保護者で参加した。石川啄木記念館藤原館長の分かりやすい語り口と内容に、改めて地域の偉人の人生と業績について再確認するとともに、4月よりリニューアルオープンした記念館を見学することで、講演をもとにしながら、より石川啄木について考えを深めることができた。	
2	2月13日 開催予定	大切ないのちについて	岩手医科大学看護学部成育看護学講座 講師 西里 真澄 先生	児童・保護者 60名 (予定)
		内 容	感 想 等	
		思春期の児童とその保護者が、かけがえない命の大切さについて、講師から学ぶ機会とする。	(2月13日開催予定)	

3 成果及び今後の課題

(1) 成果

学校でも先人教育として石川啄木の生き方や作品について学んでいるが、藤原館長の分かりやすい講話により石川啄木という人物について、再認識するとともに、より身近に感じることができた。また、リニューアルした石川啄木記念館・民俗資料館を見学することで、より理解を深めるとともに、地域の有用な施設として、今後学校のみならず、地域の子ども会等でも活用していくヒントをいただき、大変有意義だった。

2月の講義では、児童・保護者が多様性を理解することの大切さを学ぶことができるよう取り組みたい。

(2) 今後の課題

大変有意義な講習であったが、参加者が少なく、呼びかけ不足を痛感した。地域にある貴重な施設であることから、児童だけでなく、保護者にもその有用性について広く周知するとともに、今後も幅広く活用していきたい。

また、2月の思春期講習会については、より周知し多くの保護者にも参加していただけるよう取り組みたい。

(3) その他 今後の「学びのつどい」の在り方に関すること等

特になし